

# 組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 子供の姿を見取ることからはじまる未然防止



「あれ?」と思う子供たちの姿を見過ごさないことが、いじめや不登校、問題行動等の未然防止の第一歩です。

行動の様子や人間関係の変化の背景等を意識しながら、日々の生活から子供たちの姿を見取りましょう。

## 子供たちの行動の様子や人間関係の変化(例)

### 登校時



- 名前を呼ばれても返事をしない。
- 目が合わず、うつむいている。
- 同じ服を着ている日が続いている。
- 普段よりよく話し、落ち着かない。
- 普段より口数が少なく元気がない。

### ポイント①

朝の健康観察や、出席確認、朝読書の時間等は、**子供たちの変化を見取る**大切な場面です。

### 授業中



- よく外を見てぼんやりしている。
- トイレや保健室へ行く回数が増える。
- ノートの字が乱雑になる。
- 姿勢が保持できなくなる。
- 学習用具がそろわない。

### ポイント②

生活の乱れを感じたら、**家庭の様子**に目を向けてみましょう。また、学習への意欲等に**変化を感じたら、安心して学ぶことのできる環境が整っているのか**という視点で、学級の様子を振り返りましょう。

### 休憩中



- 一人で過ごす場面が増える。
- 遊び仲間の構成が頻繁に変わる。
- 内緒話をする場面をよく見かける。

**特別支援教育の視点も大切に!**  
(参照)「ほっと通信」  
(西部教育局ホームページ掲載)

### 給食中

- 食べている時の様子や給食を残す量に、普段との変化が見られる。
- 食欲がない。

### ポイント③

特に気になる子供については、他の先生方からも**情報収集**することで、より客観的に実態を把握することができます。

### 下校時



- 表情が暗い。
- 挨拶をしても返ってこない。

当てはまる姿を見つけたけれど、どうすればいいのかな。

まずは、学年主任、学年団、養護教諭等、身近な先生方へ**相談**をしましょう。子供たちの**具体的な姿**を情報共有する際に、ぜひ、このお役立ち情報を御活用ください。

